

英カーボンニュートラル社

日本市場に進出

オフセット事業で リサイクルワンと提携

個人や企業が排出したCO₂をオフセット（埋め合わせ）するカーボンオフセット事業の世界最大手である英国のカーボンニュートラル社（以下、カ社）は、日本市場に進出する。日本で環境関連のコンサルティングを手がけるリサイクルワン（東京都渋谷区、03・3464・3566）と提携して市場開拓を進める。個人向け商品のメーカーや流通、小売業などに営業展開し、三年後に一〇億円の売り上げを目指す。

削減、カーボンオフセット計画とそれを通じたCSR計画や販売促進計画の策定と実施支援など、更に排出権の販売やCD

カ社は、一九九七年から同事業を開始した。パイオニア。世界各地で実施している三〇件以上のCO₂削減プロジェクトを背景に、これまでにアメリカンエクスプレスや本田技研工業、DHLなど二〇〇社以上の企業と五〇万人以上の個人に対してサービスを提供してきた。

このほど、これまでの欧米中心の事業展開から、日本を含めたアジアや中東での需要拡大を見込み、日本へ進出する方針を固め、提携先を模索していた。

一方、リサイクルワンは、リサイクル資源の電子取引市場の運営や環境関連のコンサルティング、資源の国際循環やリサイクルなど、環境分野に特化した経営が強い。これまでの廃棄物・リサイクルを中心に事業展開

してきたが、今回の提携に伴い、日本での代理店としてカーボンオフセット事業の展開を開始する。カ社のこれまでのブランド力と実績、信用と、同社のコンサルティング能力と国内での顧客ネットワークを生かす。同時に専用ウェブサイトを（<http://www.carbonneutral.jp.com/>）も立ち上げた。サービス内容は、CO₂排出量の算定やCO₂

M事業の推進まで手がける。営業展開としては、個人消費者に結び付いた製品や流通などのほか、環境の視点で新たなビジネス展開を目指すIT関連企業、あるいは企業イメージを重視するタクシー会社や大学なども含め幅広く展開。「価格や品質が同程度ならば、環境・社会貢献などの面が決め手となる。ブランドイメージを上げて差別化につ

なげたい企業への拡販を図る」（興津世禄事業開発事業部マネージャー）。カーボンオフセットについては日本でも市場形成に向けた動きが加速しており、日本カーボンオフセット（COJ。東京都港区）は会員企業二二社で商品開発を進めるなど先行。環境省の「カーボン・オフセットのあり方に関する検討会」でも指針案が出されるなど、議論が本格化している。